

資料配布の場所・日時

1. 筑波研究学園都市記者会
2. 国土交通記者会
3. 国土交通省建設専門紙記者会
4. 北海道庁道政記者クラブ
5. 札幌市政記者クラブ
6. 北海道開発記者クラブ
7. (株)建設行政新聞社

日時：令和 8年 6月30日 (14:00)



国立研究開発法人土木研究所
令和 8年 6月 30日

道路トンネルの新たな「はく落対策工」適用に向けた報告書を発刊 ～経済性・施工性に優れた工法を検証～

道路トンネルのはく落対策工には炭素繊維シートが多く用いられています。共同研究では、炭素繊維と比較して、安価な材料や養生時間が短い材料を用いて耐荷力特性と長期耐久性について検討を行い、設計開発から施工、維持管理まで各段階で留意すべきポイントをまとめました。

これにより、経済性・施工性に優れたはく落対策工の開発が進み、その結果、安い費用で補修ができる、短い時間で補修ができ通行規制が短くなるなどにより、道路利用者の利便性と安全性が向上することが期待されます。

【No.639 トンネルの補修技術に関する共同研究報告書

～新たなはく落対策工の耐荷力特性と長期耐久性の検討～】

ホームページに上記を含む「土木研究所資料」「共同研究報告書」を掲載しました

1. 掲載資料

○共同研究報告書 *共同研究に係わる研究の成果をまとめたもの。

資料NO	タイトル	著者
639	トンネルの補修技術に関する共同研究報告書 ～新たなはく落対策工の耐荷力特性と長期耐久性の検討～	材料資源研究グループ 道路技術研究グループ (トンネル) 他
640	既設基礎杭の耐荷性能評価及び補強方法に関する共同研究報告書	構造物メンテナンス研究センター 他

2. 掲載先 以下のウェブページから閲覧できます。

○共同研究報告書 URL : https://thesis.pwri.go.jp/public_kanko/110/2026/

【問合せ先】 国立研究開発法人 土木研究所 企画部 業務課 課長 増尾 健
主査 片岡 貴之
電話番号 029-879-6754